




# 臆なるを愛でる

o b p r o n a r u w o m e d e r u

minamoto kiyomaro x suishinshi masahide



秋に君と見た月は  
澄明に輝いていて

眩しくて眩しくて  
目が眩んだ

僕はまるで君の様だと  
思っていたんだ



ごめん！

水心子！

桜：  
全然咲いて  
なかった…

1分咲き  
さくら

なに、春になった  
とはいえ肌寒い

まだ寝ていたい  
花もいるだろう

ははは、

朝の清麿の  
ようにな

でも  
僕としては  
残念だよ

君と一緒に  
夜桜を  
見たかったから

Pi!

二人でお花見  
したくて本丸から  
離れたところまで  
誘ったけど

本丸にある桜は  
見頃だが  
あちらは宴会やらで  
騒がしいからな…

ちやんと  
下調べして  
おくべきだった…

この辺りなら  
落ち着いて花見も  
できそうじゃ  
ないか

なに  
また来ればいい

あ、フオロー  
してくれてる…

きつと

満開になれば  
それは美しい光景  
になるだろう

ああ

それにほら

うん！  
そうかも  
しれないね

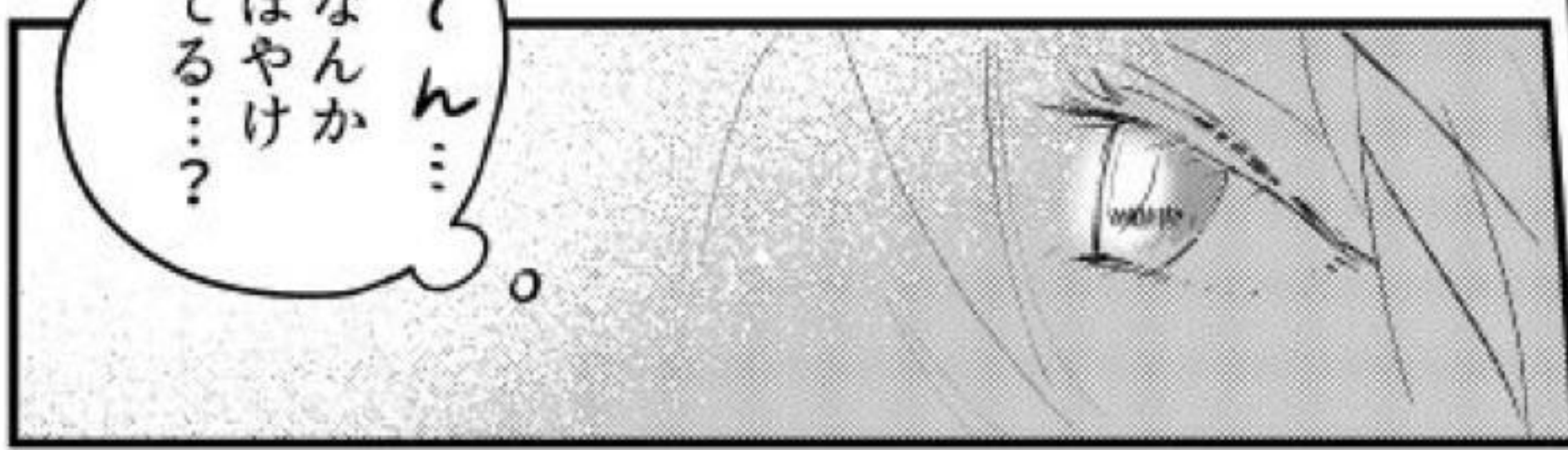
これはこれで  
趣があるぞ？



月？

ああ

清月だね



うん...  
なんか  
ぼやけ  
てる...？



意識したことなかったけど  
春の月って、秋と違って  
パツとしないというか  
ぼやつとしているね

んっ...  
言われてみると  
そんな気もするが...

私は秋の月より  
この月の方が  
好きだな

へえ  
どうしてだい？



距離も  
近くに感じるし  
色もあたたかい

この時期は  
空気中に塵が  
多いせいだろうか  
霞んでいる分...



私は優しい感じに見える気がする



水心子は本当にすごいね

僕、桜だけじゃなく月までぼんやりしていて

残念だなんて思ってたんですけど



水心子の言う通り確かにこの月も風情があつて良いかもしれないなんて思えてきたよ

…あと、うまく言葉にできないのだが…

うん!

そうか? それならよかった

うん?

清麿に  
似てると思った

この心地よい  
輝きや美しさは

へ？  
僕…？  
っあ！  
いいや  
何でもない

……

ううん、  
ありがとう  
水心子  
嬉しいよ  
ふふ、そっか  
春の月かあ

へ、変なことを  
言ったな…  
忘れてくれ



好きだなあ…

？  
：清磨そんなに見つめられると恥ずかしいんだが

ん？

ん？

ただ見ているだけだから気にしないで



はーはーは  
なんだそれ

モ—

えへっ




(好き…)

いつの間に僕はこれほどまでに君を好きになっちゃったのだろう

きっかけは何だったか覚えていないほど些細なことだった気がする






彼の凛々しくまっすくな  
立ち振る舞いに  
惹かれたことが始まり  
だったかもしれない

あるいは  
素の彼と接して  
その優しさに触れた  
からなのか

いや  
そもそも彼という存在  
そのものに強く  
惹かれてくるような  
気さえしてくる



この気持ちを伝える  
つもりはなかった

親友として  
仲間として  
それ以上を  
望まなかったと  
言えば嘘になるけど

それで十分  
幸せだったんだよ

ただ側にいるだけで  
よかったんだけどなあ…

欲というのは  
際限がないものだ…



一度知ってしまった  
幸福というものからは  
なかなか抜け出せないもので



だからこそ

もっと欲しいと  
思ってしまう自分が  
浅ましくて  
仕方がなかった



こうして二人きりにな  
れる機会があれば  
つい期待してしまう自分を  
抑えることができない



僕はもっと  
君と…

…

清磨？

どっさ

た？



グッ





キッ  
ハッ



き、清磨  
どうした急に!?

好きだ  
好きだ…

キッ  
ハッ



ねえ水心子

今ここで  
君にキスしたい  
って言ったら  
怒るかい?

え!!  
何を言って…ッ?!

駄目?

待て?!

だ、だめも何も!  
僕たちはそういった  
ことをするような  
間柄ではないだろうっ

それは……

じゃあどういう  
『間柄』になれば  
いい?

その……

……わ、わからない

ずるい聞き方をして  
ごめんね水心子

僕はね水心子、  
君のこと

とても大切に  
思っているんだ

でも  
こうでもしないと  
君は答えを出して  
くれないだろう?

もちろん親友と  
してもだけれど

それ以上の意味で  
君のことを  
大切に想っているよ

だから  
もし僕と同じ想いを  
抱いてくれているなら

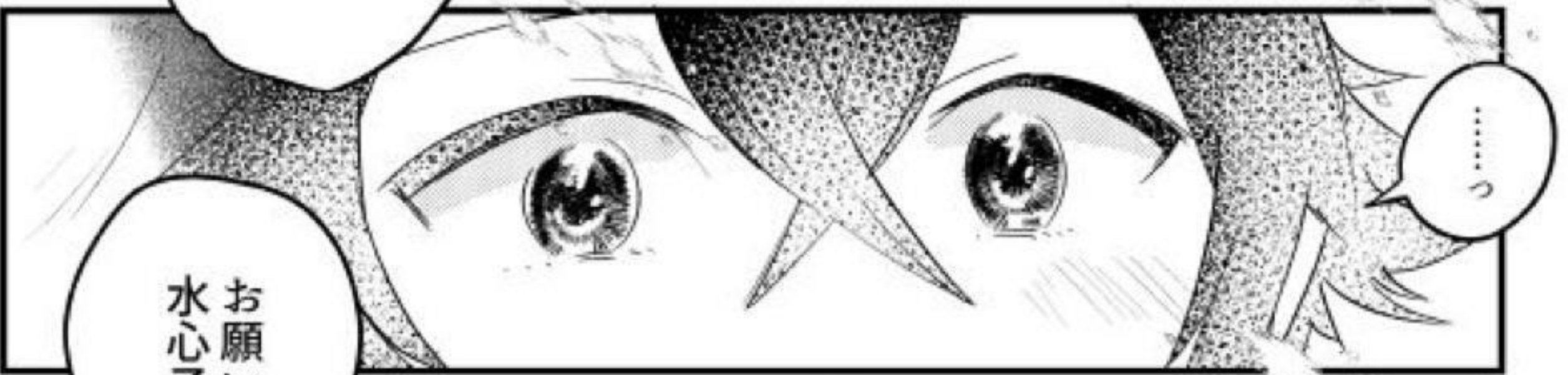
どうか応えてほしい



もしも

僕の思い違い  
でなければ

君はきつと  
同じ気持ちでいて  
くれるんじゃない  
かなって思ってる...



.....

お願い  
水心子



.....



.....  
まだ離したくない  
って言ったら？

清磨

はい...



...そんな風に  
言われたら断れない  
じゃないか...

水心子...

もう！  
わかったから  
一度離れて



まったく

ごめんね

別に  
怒ってはいない

うん

……

……

…清麿



…うん



清麿



うん



僕は



好きだ

…僕も









い...



はっ...



う...



ん、う



んん...





僕達  
そういう仲に  
なったってことで  
いいんだよね？

水心子の口から  
ちゃんと言って  
ほしいんだけど

え  
あ、  
……う、うん

じ、…

そういうこと  
だろう…

すき



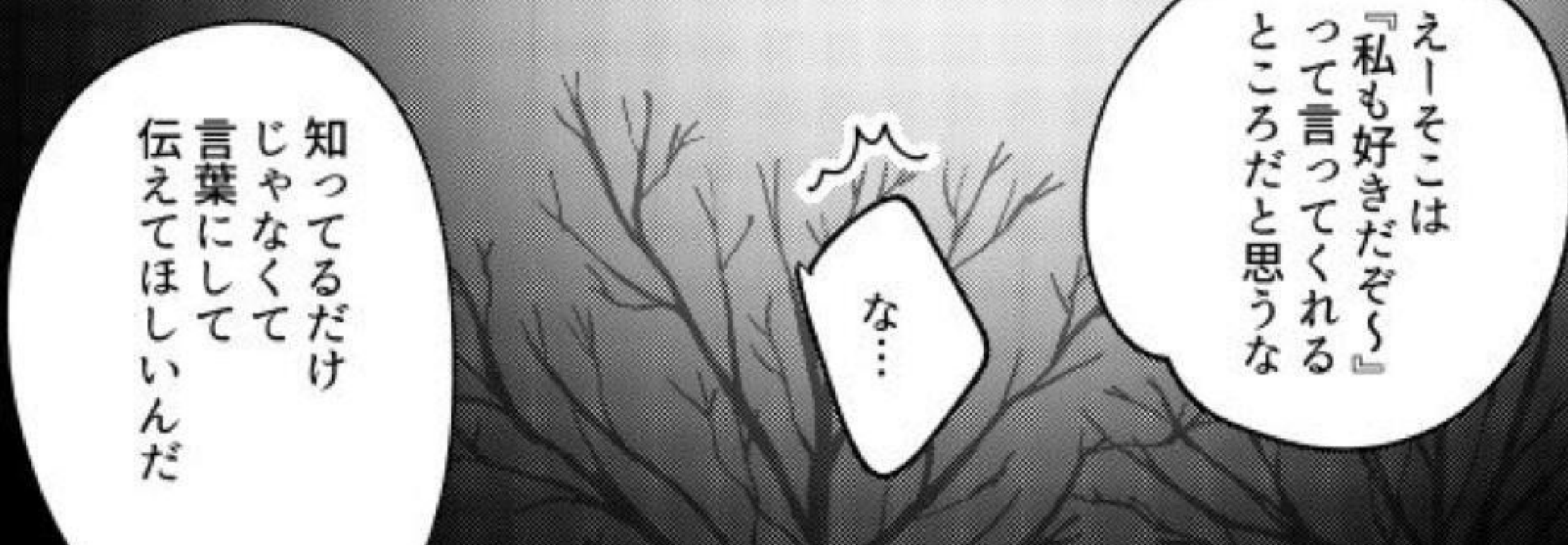
僕、水心子のこと  
大好きだよ

すき

すき

びくっ


知っている



えーそこは  
『私も好きだぞ』  
って言うてくれる  
ところだと思うな

な…

知ってるだけ  
じゃなくて  
言葉にして  
伝えてほしいんだ



ほら  
言ってみて？  
お願い



言葉…




…月が

綺麗だ

ぼそ…

…




…だから

その…  
清麿と一緒にだと

いつもより  
ずっと輝いて  
見えるというか  
なんと言うか

そう、  
つまりだな…



清麿と共に  
見る景色は

とても美しい  
ということだ！

キラキラ

……っ

あ……  
だめだこれ

清麿？

ううん  
なんでもない

本当に嬉しいよ  
水心子  
ありがとう

ん？



でも幸せだから  
良いんじゃない  
かなって

なんだかね  
おかしいね

…ねえ、清麿

ははっ  
そうだな

ん？



僕は  
清磨が好きだ



ここが本当に  
満開なる頃に  
また来よう

うん！  
楽しみだね

ああ





こんにちは、ノノノです。  
この度は本を手にとっていただきありがとうございます。

いろんな経験をして、いろんな景色を見て、愛を育んで欲しい限りです。  
まろすいちゃん幸せであれ。  
いっぱいちゅーしてくれるとあるじうれしい。



# 臃なるを愛でる

oboro naruru wo mederu

発行日 2022/3/21

発行 #7058A3 ノノノ